

臨時薬の取扱いについて

学校における薬の取扱いについては、厚生労働省の指示に基づき、薬の安全管理に細心の注意を払うことが求められています。そこで、本校では**医師の指示により**やむを得ず与薬が必要となる場合に限り、児童生徒への服薬等の介助を行っているため、処方薬に限ります。「臨時薬を学校で使用するにあたってのお願い」をご確認の上、ご理解ご協力くださいますようお願いいたします。

《臨時薬を学校で使用するにあたってのお願い》

急性疾患の回復期で薬を持参する場合は、「臨時薬依頼書」と「お薬の説明書コピー」のご提出をお願いします。また、1回分ずつ袋に使用する日にち、時間、氏名を記名し、その日に必要な分だけご持参ください。

※1 まずは、主治医に相談の上、朝夕2回の服用ができるようご協力をお願いします。できる限り、学校で医薬品を使用しなくてよい処方をご相談ください。

※2 「痛そうだったら・・・」や、「痒そうだったら・・・」というように教員が症状を判断しなければならぬ頓用薬は原則として対応できません。

問合せ先 保健室 養護教諭

電話番号 0463-81-5905 (落合校舎)

電話番号 0463-82-3551 (末広校舎)

----- き ----- り ----- と ----- り -----

臨時薬 依頼書

医師の指示により、薬を使用する必要があります。次の事項に従って服薬や使用を依頼します。

E・F・G 小・中・高 年 組 児童生徒氏名

使用期間	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
診断名			
薬の名前			
薬の形状	粉薬・錠剤・水薬・ その他()	粉薬・錠剤・水薬・ その他()	粉薬・錠剤・水薬・ その他()
1回量			
時間	昼食前・昼食後・ その他(時)	昼食前・昼食後・ その他(時)	昼食前・昼食後・ その他(時)
服薬・使用方法	そのまま・水で溶く その他()	そのまま・水で溶く その他()	そのまま・水で溶く その他()
薬をもらった 病院名			
副作用等の 注意事項			

※ 薬の説明書のコピーを添付してください。

※ 裏面の臨時薬の提出の仕方を参考に、薬を準備してください。

【臨時薬の提出のしかた】

薬の量は、
1回分の使用量で

① 薬



口が閉じ、
中身が見える袋

氏名をマジックで
大きく、記入してく
ださい。

学部 学年 クラス
秦野太郎

②薬の説明書



薬の説明書を入れてください。

※薬の説明書とは、服薬量や服薬時間、効能や副作用、注意事項の記載のあるものです。